

職業教育のマネジメントの強化のために

専修学校の質の保証・向上
に関する調査研究協力者会
議（第25回）

令和4年3月30日（水）

令和3年度
「職業実践専門課程等の充
実に向けた取組の推進」

○職業実践専門課程等の充実に向けた取組の推進

1 職業実践専門課程の充実に向けた自己点検・評価システムの検証と質保証・向上のための取組

○教職員の資質能力向上の推進

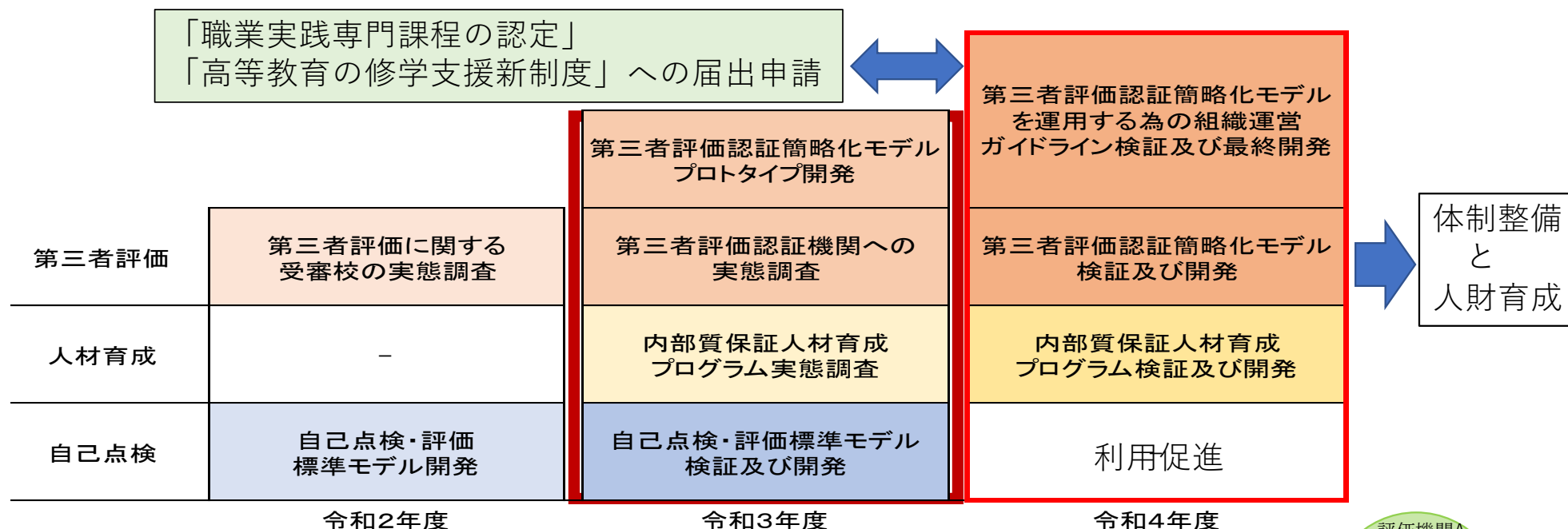
2 全学的な職業教育マネジメント確立のために必要な専門スタッフ養成と情報公開の促進体制の整備

3 専修学校教育の質保証・向上を進めるために必要な教職員研修プログラム開発

「職業実践専門課程等の充実に向けた取組の推進」

○職業実践専門課程等の充実に向けた取組の推進

「職業実践専門課程の充実に向けた自己点検・評価システムの検証と質保証・向上のための取組」



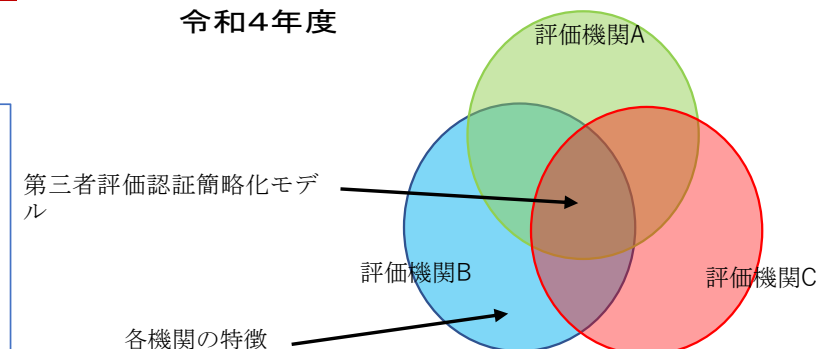
令和3年度 成果物

自己点検・評価モデル【共通的評価基準モデル2022】

自己点検・評価モデル利用の手引き【共通的評価基準モデル2022】

第三者評価認証簡略化モデル（案）

内部質保証人材育成プログラム（案）作成のための調査



「職業実践専門課程等の充実に向けた取組の推進」

○教職員の資質能力向上の推進

「全学的な職業教育マネジメント確立のために必要な専門スタッフ育成と情報公開の促進体制の整備」

令和2年度の調査で明らかになった知見

- 情報公開を含めた各省庁への提出書類の作成事務担当者の労力負担は大きく、**その大部分を学校運営責任者が担っている現状がある。**
- 一方で、書類作成スキルについては、マニュアルや前任者からの引継ぎは少なく、**〇」」で身につけている現状である。**
- 人材育成への要望は多くあり、**中堅管理職スキルの維持・向上が専修学校の教育の質向上・魅力的な情報公開発信に必要**である。

研修開発ニーズ

○自身で学習が足りていないと感じる項目

順位	項目	ポイント
1	専修学校設置基準の解説	35.1%
2	部下を育成するためのマネジメント	33.8%
3	学校運営に関わる数値の体系的理解	27.0%
4	業務効率向上のための手法	25.7%
5	課題設定力と問題解決力	24.3%

○部下に学習させたいと感じている項目

順位	項目	ポイント
1	魅力度アップ_情報公開のポイント	66.2%
2	大学等_修学支援に関する法律の解説	66.2%
3	情報公開・募集広報連携強化手法	63.5%
4	学校法人会計の基礎と予算書	62.2%
5	別紙様式4の詳細解説	62.2%

○総合的に学習が必要であると感じている項目

順位	項目	総合
1	魅力度アップ_情報公開のポイント	87.8%
2	部下を育成するためのマネジメント	83.8%
3	大学等_修学支援に関する法律の解説	81.1%
4	シラバスの適切な表現	81.1%
5	情報公開・募集広報連携強化手法	79.7%
6	専修学校設置基準の解説	77.0%
7	学校法人会計の基礎と予算書	77.0%
8	課題設定力と問題解決力	75.7%
9	業務効率向上のための手法	75.7%
10	能動的行動のためのトレーニング	75.7%

令和3年度 事業概要

- A類研修3科目を開発しテスト運用する。
ビデオ教材/インターネットを利用したコンテンツ配信
- B類研修を開発するための情報を収集する。
マネジメント関係の研修を実施している民間教育機関や三菱総研等からの情報収集
- C類研修を情報公開セミナーとして開催する。
- D類研修は、現在運用しているID研修や開発中の学習評価研修を活用する。

科目別研修区分

区分	項目
A類	専修学校に関する基礎知識(1)～(3)
A類	各種申請書作成に必要な法令の理解
A類	学校法人会計の知識
B類	職業教育マネジメントに関する基礎知識及び現状と課題
B類	先進的な職業教育マネジメント取り組み事例
C類	先進的な職業教育マネジメント取り組み事例
C類	効果的な情報公開を行っている学校を調査
D類	シラバスの確認・評価を経て適切に公開する知識

A:知識 B:マネジメント C:マーケティング D:教育

研修の位置づけ

区分	分類	習得方法
A類	学校運営管理者が必要とする専修学校等に関する知識	デンデマンド
B類	学校運営責任者が必要とするマネジメント能力	オンライン＋ワーク
C類	学校運営管理者が常に学習し続けなければならない	オンライン＋ワーク
D類	学校運営管理者が必要とする教育に関する知識等	オンデマンド

令和4年度 事業概要（案）

① eラーニング教材作成

- ・情報公開の必要性
- ・職業教育マネジメントの有用性
- ・私立学校法改正のポイントと対応

②制作した教材のeラーニングマネジメントシステム構築

制作済みコンテンツ（10）

③セミナー開催（各東京1回）

- ・「職業教育マネジメント」
- ・「情報公開」

※②のeラーニング教材をベースに有用性や必要性を訴求

④申請業務効率化アプリ制作

（対象：「職実課程」「修学支援新制度」・帳票作成の効率化支援

「職業実践専門課程等の充実に向けた取組の推進」

○教職員の資質能力向上の推進

「専修学校教員の質保証・向上を進めるために必要な教職員研修プログラム開発事業」

● 必要とされる人材像と高等教育の目指すべき姿 (高等教育のグランドデザイン)

予測不可能な時代
を生きる人材像

- 普遍的な知識・理解と汎用的技能を文理横断的に身に付けていく
- 時代の変化に合わせて積極的に社会を支え、論理的思考力を持って社会を改善していく資質を有する人材

学修者本位の
教育への転換

- 「何を学び、身に付けることができたのか」+個々人の学修成果の可視化
(個々の教員の教育手法や研究を中心にシステムを構築する教育からの脱却)
- 学修者が生涯学び続けられるための多様で柔軟な仕組みと流動性

GIGAスクール

学習者本位 コロナ禍
個別最適化

教員研修プログラム開発

「学習評価ワーキンググループ」

学習評価（非認知能力）研修

令和2年度（2020年度）

- 調査（アンケート調査・ヒヤリング調査）
- 面接調査・オンライン調査

令和3年度（2021年度）

- プロトタイプ版開発・アクションリサーチ

令和4年度（2022年度）

- 実証事業の実施
- 研修プログラム検証研修実施

1. 非認知能力の評価基準に関する実態調査
(アンケート調査) →ヒアリング調査対象の抽出
2. 協力校への調査（ヒアリング調査、アクション・リサーチ）→非認知能力の評価基準の具体的作成ならびにその方法の開発
3. 調査報告書の作成

1. 協力校への調査（アクション・リサーチの継続）
→2020年度に作成した評価基準を用いた学習評価の実施
2. 「非認知能力の評価基準の作成方法の手引き」（プロトタイプ）を作成する
3. 教材・研修プログラム開発・研修会の実施（プロトタイプ）

1. 協力校への調査（ヒアリング調査）
2. 「非認知能力の評価基準の作成方法の手引き」（完成版）の作成
3. 教材・研修プログラム開発・研修会の実施（完成版）
→協力校以外への実施

「ICT活用ワーキンググループ」

アダプティブラーニング教授法修得の研修

1. 各種教育機関が取り組んでいるデジタルコンテンツを活用したアダプティブラーニングに関する実態調査
アダプティブラーニングの取組調査
デジタルコンテンツを活用したアダプティブラーニングに関するヒアリング調査
2. 調査報告書の作成

デジタルコンテンツを活用したアダプティブラーニング教授法の開発と実施

1. 教育機関等で行われているデジタルコンテンツを活用した先進的なアダプティブラーニング事例を元に標準的なモデルを開発
2. 検証研修の実施

検証研修を基にデジタルコンテンツを活用したアダプティブラーニング教授法を習得するための教育研修プログラムを開発

- ①カリキュラム・シラバス ②事前学習用e-learning
- ③集合研修用テキスト④事後学習用教材および評価シート
- ⑤指導マニュアル

2040年に向けた 高等教育のグランドデザイン 目指すべき姿

学修者本位の教育への転換
教育の質の保証と情報公表
地域連携プラットフォーム
多様な機関による多様な教育の提供
高等教育を支える投資

産官学の円滑
な連携・強化

○職業実践専門課程等の充実にに向けた取組の推進

1 「職業実践専門課程の充実にに向けた 自己点検・評価システムの検証と 質保証・向上のための取組」

【共通的評価基準モデル2022】

自己点検・評価モデル・手引き運用

第三者評価認証簡略化モデル実証

内部質保証人材育成プログラム開発

2 「全学的な職業教育マネジメント確立のために必要な専門スタッフ 育成と情報公開の促進体制の整備」 SD(スタッフデベロップメント)

① eラーニング教材作成

- ・ 情報公開の必要性
- ・ 職業教育マネジメントの有用性
- ・ 私立学校法改正のポイントと対応

② 制作した教材のeラーニングマネジメントシステム構築 制作済みコンテンツ（10）

③ セミナー開催（各東京1回）

- ・ 「職業教育マネジメント」
- ・ 「情報公開」

④ 申請業務効率化アプリ制作

（対象：「職実課程」「修学支援新制度」・帳票作成の効率化支援

3 「専修学校教員の質保証・向上を進めるために必要な教職員研 修プログラム開発事業」

FD(ファカルティデベロップメント)

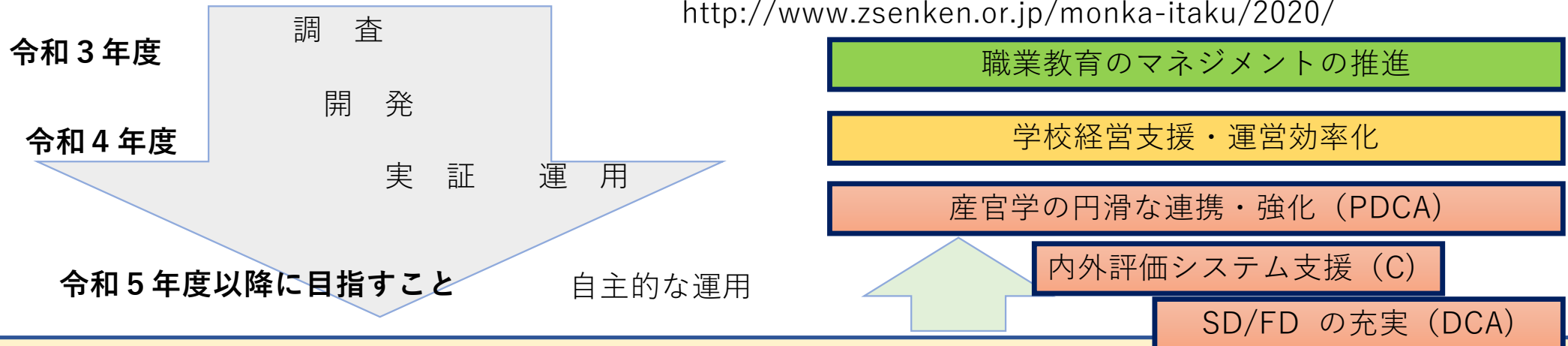
学習評価（非認知能力）研修 実証

アダプティブラーニング教授法修得の研修 改善・運用

○教職員の資質能力向上の推進

「職業実践専門課程等を通じた専修学校の質保証・向上の推進」

<http://www.zsenken.or.jp/monka-itaku/2020/>



- ・ 3事業を融合し、職業教育のマネジメントの充実に。
- ・ 専門学校において、これからの教育の質の保証と情報公表の為、現有の情報・データの**効果的な公表**を提案と普及促進を進める。
- ・ これまで長らく人材輩出をしてきた地域の中小の専門学校が、第3者評価の取り組みを促すための**地域連携プラットフォーム**の提案と地方にて**内部質保証人材育成プログラム**を行う。
- ・ 第3者評価機関の紹介・普及と全国展開に向けた地域の基盤整備をする。
- ・ 学校教育の学修者本位への転換とGIGAスクールの推進を踏まえ、地域専門学校ならではの環境作りに有効な**教職員研修**を提供する。（**ブレンデッド・ラーニング**）
- ・ 多様な教育を提供し続けている専門学校による地域人材育成を促進するために、地方創生に有効な職業教育を支える投資を求める。（**全国提供と地域ブロック単位の発信拠点作り**）